2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	航空法規 (Aviation Regulation)		
ナンバリングコード	N21601	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 標準レベル 航空機整備
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 / 前期
必修・選択区分	選択		
授業コード	N160101	クラス名	
担当教員名	山岸　利幸		
履修上の注意、 履修条件	航空整備士国家試験4科目の中に航空法もあります。 航空機整備士を目指す方は確実に理解してください。		
教科書	プリントを配布		
参考文献及び指定図書	航空機検査業務　サーキュラー集(日本航空技術協会出版)航空法規集(鳳文書林出版) 航空法、サーキュラー、耐空性審査要領、等		
関連科目	整備概論、整備基礎、航空機構造装備		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	航空機設計、航空機整備に何故航空法が必要か理解する。			10点
【知識・理解】	航空機1機を飛ばすのに必要な書類、資格等について理解する。	60点		
【技能・表現・ コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	航空機は各種の法・ルールのもとに飛んでいることを理解する。		30点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

3回行う小テストで自分自身の理解度を確認してもらいます。
授業での取り組み姿勢および態度を客観的に評価します。特に欠席・遅刻・早退した場合は減点となります。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	航空宇宙工学科ディプロマポリシー「航空機や宇宙機器の設計・製造・運航・整備に関して基礎理論及び知識を体系的に理解している。」に関して、航空機を運航、整備又は設計していく為に必要な法律を学習します。	
授業の概要	航空機の設計、運航及び整備を実施する上で必要な航空法を学習する分野です。内容は、航空法の歴史、背景、航空法の体系として航空法施行規則、耐空性審査要領、航空機に備え付けばならない書類、耐空性基準、耐空性審査要領、飛行規程、運用限界、修理改造検査、型式証明、非常用装備品、航空整備士の作業区分予備品証明等、について学習します。又日本の航空法と諸外国特にアメリカの航空法の相違についても学習します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当しない」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目	山岸　利幸 　本授業の航空法に関連する実務経験として航空会社で整備士・検査員業務、整備管理業務、品質保証・品質管理業務に従事。	

○備考欄

授業は配布したプリントで実施します。
予習用に次回のプリントも配布します。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 航空法規（Aviation Regulation ）　授業コード:N160101
担当教員: 山岸　利幸

学修内容

1. 航空法の体系
日本の法律体系、航空法体系を説明します。

予習: プリント2を予習する。（約2.0h）
復習: プリント1を復習する。（約2.0h）

2. 航空法の目的
航空法の目的、第2条航空機の定義、航空業務について説明します。

予習: プリント3を予習する。（約2.0h）
復習: プリント2を復習する。（約2.0h）

3. 航空従事者
航空従事者の役目について説明します。

予習: プリント4を予習する。（約2.0h）
復習: プリント3を復習する。（約2.0h）

4. 整備作業の区分
整備作業の区分について説明します。

予習: プリント5を予習する。（約2.0h）
復習: プリント4を復習する。（約2.0h）

5. 計器飛行
計器飛行についての定義について説明します。
小テスト1を実施します。

予習: プリント6を予習する。（約2.0h）
復習: プリント5を復習する。（約2.0h）

6. 耐空証明
航空機の耐空証明とそれに関わる仕組み等について説明します。
小テスト1の解答をします。

予習: プリント7を予習する。（約2.0h）
復習: プリント6を復習する。（約2.0h）

7. 認定事業場
整備作業の認定事業場について説明します。

予習: プリント8を予習する。（約2.0h）
復習: プリント7を復習する。（約2.0h）

8. 航空機の登録
航空機のについて説明します。

予習: プリント9を予習する。（約2.0h）
復習: プリント8を復習する。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 航空法規（Aviation Regulation ）　授業コード:N160101
担当教員: 山岸　利幸

学修内容

9. ここまでの整理
1から8回目までの授業を振り返り、関連付けを行います。

予習: プリント10を予習する。（約2.0h）
復習: プリント9を復習する。（約2.0h）

10. 運航規程、飛行規程
運航に関わる規定類について説明します。
小テスト2を実施します。

予習: プリント11を予習する。（約2.0h）
復習: プリント10を復習する。（約2.0h）

11. 航空機の搭載書類
航空機が運航するに当たり、搭載が義務付けられている書類について説明します。
小テスト2の解答をします。

予習: プリント12を予習する。（約2.0h）
復習: プリント11を復習する。（約2.0h）

12. 航空路、空港、保安施設
航空機が運航するに当たり、必要となる航空路、空港、保安施設等について説明します。

予習: プリント13を予習する。（約2.0h）
復習: プリント12を復習する。（約2.0h）

13. Enroute飛行
飛行機が運航する際に必要とされる地上からの支援体制について説明します。

予習: プリント14を予習する。（約2.0h）
復習: プリント13を復習する。（約2.0h）

14. 航空機の安全確保
安全のために装備されるものについて説明します。
小テスト3を実施します。

予習: プリント1～14を見直し、分からない点をピックアップしておく。（約2.0h）
復習: プリント14を復習する。（約2.0h）

15. 纏め
振り返りを実施し、知識の確認を行う。
小テスト3の解答をします。

予習: 小テストを全て解いてみる。（約2.0h）
復習: 全てのプリントを復習する。（約2.0h）

16. 期末試験
第1回～15回までの講義の内容から問題を出題して解答して貰います

予習:
復習: